

学校だより あしたか 9月号



学校教育目標：㊦かよく ㊧しこく ㊨えむきに 令和4年8月29日

重点目標：「いいね！」をのぼそう 富士市立吉永第二小学校

吉永第二小学校ホームページ <http://www2.city.fuji.shizuoka.jp/~p-yoshinaga2/>

👍 校舎に響く子どもの声が「いいね！」🍌🍌🍌🍌🍌🍌🍌🍌🍌🍌

32日間の夏休みが終わり、休み中は静かだった校舎には子どもたちの元気な声が響いています。昨年度は緊急事態宣言発出により、夏休みが多少延長されましたが、今年度は予定通り8月26日から学校を再開できたことに安堵しています。

そして、長い休み明けにいつも思うことですが、「学校は子どもたちが主役」という当たり前のことを再認識し、子どもたちとの再会に喜びと幸せを感じています。

さて、コロナ禍になって3年目の夏は、行動制限がありませんでした。吉永北地区の夏フェスタは中止の決断がされましたが、その他各地の祭りや花火大会などは、感染対策をしながら実施したところもあり、「もうコロナによる自粛はうんざり」「経済活動をこれ以上止めることはできない」など、新型コロナに立ち向かう強い覚悟も感じられました。

しかし、その一方で新たな変異株の広がりにより、医療現場のひっ迫や、命を落としてしまう方が連日のように報道され、コロナ収束の見通しは未だ見えない状況でもあります。

夏休み直前に市内小学校での学級閉鎖が相次ぐ中、幸い本校は学びを止める必要がないまま夏休みを迎えることができました。しかし、集団生活を営む上で感染リスクはゼロにはならないことを肝に銘じ、前期の教育活動のまとめをしていく所存です。

特に9月末には、6年生が楽しみにしている修学旅行も計画されています。今後も行政主導による行動制限が発出されないことを見通して、独自の行動制限や感染対策徹底によって、この難局を乗り越えなければいけないと考えています。

対コロナ戦は、団体戦から個人戦へと移行してきたようなイメージをしていただき、皆様のご理解ご協力を改めてお願い申し上げます。

校長 望月 敏行

📊 令和4年度全国学力学習状況調査結果より

7月28日（金）のメディア報道により、今年度の調査結果の一部が公開されました。ニュースで大きく取り上げられたことは、石川県の小中学校の平均正答率がトップクラスであったことでした。数年前までは、都道府県の順位に一喜一憂するような風潮があり、そのための対策を行う県もあったようです。その後、競争を助長しないような発表に移行したとは言え、各教科の平均正答率は気になるようです。

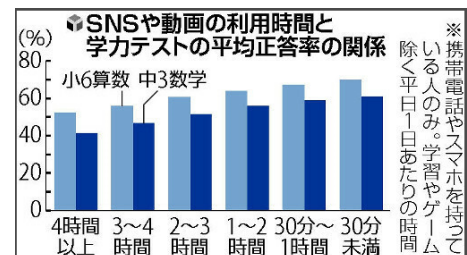
また、他にも注目しなければいけない報道もありました。それは、右の棒グラフに表されたクロス集計結果です。

ご覧の通り SNSや動画の利用時間が多ければ多いほど、算数の平均正答率は下がっていくという傾向です。これは、テレビゲームや携帯型ゲームの利用時間にも同じことが言えるのではないかと考えます。

夏休みは、家庭で自由に過ごす時間が多くなり、SNS・動画の利用やゲームで遊ぶ時間が多くなった子もいるかもしれません。それらを全く使用させないことは不可能であると思いますが、目標として1時間以内にできるように、夏休み明けの集会で子どもたちにも話しました。少しずつそれに近づけてほしいと願っています。

さらに、これまでゲームに費やしてきた時間を有益に活用できるようになることが、子どもたちの学力向上のための土台づくりだと考えていただけましたら幸いです。

なお、学校独自の考察につきましては、後日改めて報告させていただきます。



📌 学校給食費の公会計化と一括徴収管理制度について（重要）

令和5年度より富士市では学校給食費及び学年費（積立金）、教育振興費、PTA会費を市で一括徴収することになりました。今後、それに伴う手続き等をお願いを保護者の皆様をお願いしていく運びとなります。この件に関する今後の通知等をご一読いただき、ご理解ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。